

2025 年 10 月 2 日

報道関係各位

GMO インターネット株式会社

NTT 東日本株式会社

NTT 西日本株式会社

株式会社 QTnet

『GMO GPU クラウド』と低遅延回線『IOWN APN』を活用した 次世代分散型 AI インフラの技術実証を開始

～疑似遠隔環境にて GPU・ストレージ間接続の性能テストに成功～

GMO インターネットグループの GMO インターネット株式会社（本社：東京都渋谷区、代表取締役 社長 執行役員：伊藤 正、以下、GMO インターネット）、NTT 東日本株式会社（本社：東京都新宿区、代表取締役 社長：澁谷直樹、以下、NTT 東日本）、NTT 西日本株式会社（本社：大阪府大阪市、代表取締役社長：北村 亮太、以下、NTT 西日本）、株式会社 QTnet（本社：福岡県福岡市、代表取締役 社長執行役員：小倉 良夫、以下、QTnet）は、共同実験協定を締結し、2025 年 10 月 2 日（木）より AI 開発基盤となる GPU とストレージ間の遠隔利用に関する技術実証（以下、本実証）を開始します。なお、「GMO GPU クラウド」の GPU（AI の演算装置）と大容量ストレージ間を「IOWN（Innovative Optical and Wireless Network） APN（All-Photonics Network）」を活用し、県間接続をする初めての取り組みとなります。

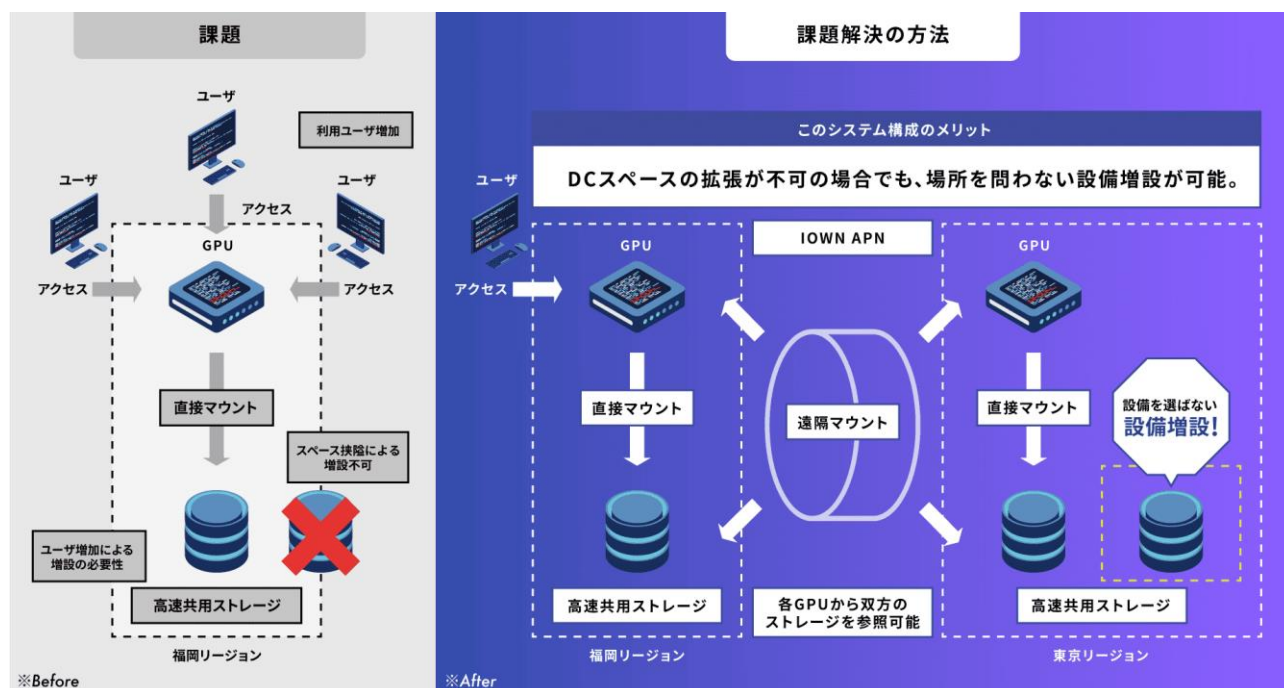


本実証は、通信遅延を大幅に低減する IOWN APN を活用することで、これまで物理的な隣接配置が必須とされてきた GPU（AI の演算装置）と大容量ストレージを分散配置し、「分散型データセンター」の構築と社会実装をめざす取り組みです。2025 年 11 月から 12 月にかけて、福岡（GPU）-東京（ストレージ）間に IOWN APN 実回線を敷設し、商用実装に向けた実用性評価を実施します。

【背景】

近年、生成 AI の中でも大規模言語モデル（LLM）の普及により、AI 開発基盤の需要が急激に拡大しています。AI 開発環境としては、オンプレミス・クラウド環境のいずれの場合も GPU 本体のみならず、演算結果の格納やジョブ投入などに用いる大容量ストレージの準備が不可欠です。データセンター内の物理的な設置スペースの制約を超えて柔軟に処理能力を拡張させたいというニーズや、学習用データや演算結果を自社施設内に格納・保管したいというニーズがある一方で、現状では通信遅延の問題から GPU とストレージの隣接配置が必須とされており、装置増設の制約や、ストレージを自社拠点など特定の場所に保管したいという地理的制約に対応できないなど、柔軟な AI 開発基盤の構築における将来的な課題が懸念されています。このため、高速大容量かつ低遅延で接続できる仕組みを導入することで当該課題を解決できると考え、この度、4 社の連携のもと本実証を開始します。

▼AI 開発基盤の構築における課題例



【事前検証の概要と結果】

事前検証として、2025 年 7 月に福岡（GPU）-東京（ストレージ）間の距離（約 1,000km）を想定した疑似遠隔環境で GMO GPU クラウドの性能テストを実施し、2 つの試験タスクを安定的に完遂することを確認しました。

低遅延という特徴に期待される「分散型データセンター」の構築という具体的なユースケースにおいて、疑似遠隔環境での事前検証で得られた本実験結果および考察・分析は社会実装の可能性を高める重要な成果となりました。

事前検証の概要

- ・ 福岡のデータセンター内に遅延調整装置「OTN Anywhere」を設置
- ・ GMO GPU クラウドを利用し、画像認識と言語学習の 2 つの試験タスクをさまざまな遅延量（福岡-東京間を想定した 15 ミリ秒等）で実行し、遠隔ストレージ利用時のタスク完了時間の変化を測定・評価

事前検証の結果

- ・ いずれのタスクにおいても、遅延条件の増加に伴いベンチマークスコアの変化を確認
- ・ 本検証で設定した福岡-東京間相当の遅延条件（15 ミリ秒）における性能低下は 12%程度

詳細は以下、別紙をご確認ください。

『IOWN APN』を活用した疑似遠隔環境における GPU・ストレージ間接続性能テストの詳細と結果

URL <https://internet.gmo/news/article/87/>

【本実証の概要】

本実証では、次世代通信基盤「IOWN APN」の高速大容量かつ低遅延という特徴を活用し、福岡のデータセンターの「GPU」と東京のデータセンターの「ストレージ」による異なる拠点間構成の実現可能性を 2025 年 11 月から 12 月にかけて技術検証します。実施内容は以下を予定しており、実回線を利用することで、より商用実装に近い環境での実用性評価が可能になります。

- ・福岡のデータセンターと東京のデータセンターを IOWN APN で接続
- ・GMO GPU クラウドを利用し、画像認識と言語学習の 2 つの試験タスクを実行し、タスクの完了時間の変化を測定
- ・従来の拠点内の隣接時、一般的なイーサネット専用線接続時、IOWN APN 接続時のタスク完了時間を比較し、商用実装に向けた実用性評価を実施

【各社の役割】

GMO インターネット	GMO GPU クラウドの GPU、およびストレージの提供 アプリケーション実装、ベンチマークテストの実行
NTT 東日本	IOWN APN 技術提供および実証回線の提供
NTT 西日本	IOWN APN 技術提供および実証回線の提供
QTnet	福岡のデータセンター内の実証環境の提供

【今後の展開】

この技術実証の成功は、今後の AI インフラのあり方に大きな転機をもたらすとともに、IOWN 構想がめざす、現状の ICT 技術の限界を超えた新たな情報通信基盤の実現に向けた重要な一歩となります。また、IOWN APN（NTT 東日本・NTT 西日本の「All-Photonics Connect powered by IOWN」）を活用することで、高速大容量かつ低遅延な通信が可能となり、従来のクラウドサービスの枠を超えた新たな価値創造が実現され、GMO GPU クラウドのサービスの柔軟性や多様な AI 活用ニーズに対応した革新的なソリューションを提供できるようになります。

今後は、実際の拠点間を結ぶ IOWN APN の実回線を用いた本格的なフィールド検証を進め、GMO GPU クラウドの性能評価および商用実装への可能性を探ってまいります。また、本実証の成果を踏まえ、将来的には、世界最高水準かつ持続可能な AI 基盤を実現し、また全国のさまざまな拠点や施設が IOWN APN で接続されると共に、当該 AI 基盤によって有機的に結ばれ、どこからでも AI 基盤にアクセスできる分散型情報社会の構築を通じて、全国規模での AI リソースの最適配置や災害に強い分散型社会基盤の実現など、新しい社会の礎となるインフラの共創をめざしてまいります。

以上

【報道関係お問い合わせ先】

●GMO インターネット株式会社

社長室 広報担当 福井

TEL : 03-5728-7900

お問い合わせ :

<https://internet.gmo/contact/press/>

●NTT 東日本株式会社

広報室 報道担当

TEL : 03-5359-3711

E-mail : houdou-gm@east.ntt.co.jp

●NTT 西日本株式会社

広報室 報道担当

TEL : 06-6490-0024

E-mail : nttw-press@west.ntt.co.jp

●株式会社 QTnet

プロモーション推進部 広報・宣伝グループ

TEL : 092-981-7773

E-mail : qt_press@qtnet.co.jp

【本件に関するお客さまからのお問い合わせ先】

●GMO インターネット株式会社

ドメイン・クラウド事業本部 GPU クラウド事業部

お問い合わせ :

<https://gpucloud.gmo/form/>

●NTT 東日本株式会社

経営企画部 IOWN 推進室

E-mail : iownlab-ml@east.ntt.co.jp

●NTT 西日本株式会社

技術革新部 IOWN 推進室

E-mail : iown-pr@west.ntt.co.jp

●株式会社 QTnet

東京支店

TEL : 03-5843-7541

E-mail : tokyo_branch@qtnet.co.jp

【GMO インターネット株式会社】(URL : <https://internet.gmo/>)

会 社 名	GMO インターネット株式会社 (東証プライム市場 証券コード : 4784)
所 在 地	東京都渋谷区桜丘町 26 番 1 号 セルリアンタワー
代 表 者	代表取締役 社長執行役員 伊藤 正
事 業 内 容	■インターネットインフラ事業 ドメイン登録・販売 (レジストラ) 事業 クラウド・レンタルサーバー (ホスティング) 事業 インターネット接続 (プロバイダー) 事業 ■インターネット広告・メディア事業
資 本 金	5 億円

【NTT 東日本株式会社】(URL : <https://www.ntt-east.co.jp/>)

会 社 名	NTT 東日本株式会社
所 在 地	東京都新宿区西新宿 3-19-2
代 表 者	代表取締役社長 社長執行役員 澁谷 直樹
事 業 内 容	電気通信業務、および附帯業務・目的達成業務
資 本 金	3,350 億円

【NTT 西日本株式会社】（URL : <https://www.ntt-west.co.jp/>）

会 社 名	NTT 西日本株式会社
所 在 地	大阪府大阪市都島区東野田町 4 丁目 15 番 82 号
代 表 者	代表取締役社長 社長執行役員 北村 亮太
事 業 内 容	電気通信業務、および附帯業務・目的達成業務
資 本 金	3,120 億円

【株式会社 QTnet】（URL : <https://www.qtnet.co.jp/>）

会 社 名	株式会社 QTnet
所 在 地	(天神本店) 福岡県福岡市中央区天神一丁目 12 番 20 号 (赤坂本店) 福岡県福岡市中央区舞鶴三丁目 9 番 39 号
代 表 者	代表取締役 社長執行役員 小倉 良夫
事 業 内 容	■電気通信事業 ネットワークインフラ、ICT ソリューション事業 データセンター事業 インターネット接続（プロバイダー）事業 スマートフォン（MVNO）事業
資 本 金	220 億 2000 万円

【GMO インターネットグループ株式会社】（URL : <https://group.gmo/>）

会 社 名	GMO インターネットグループ株式会社 （東証プライム市場 証券コード：9449）
所 在 地	東京都渋谷区桜丘町 26 番 1 号 セルリアンタワー
代 表 者	代表取締役グループ代表 熊谷 正寿
事 業 内 容	持株会社（グループ経営機能） ■グループの事業内容 インターネットインフラ事業 インターネットセキュリティ事業 インターネット広告・メディア事業 インターネット金融事業 暗号資産事業
資 本 金	50 億円

© 2025 GMO Internet, Inc., NTT EAST, Inc., NTT WEST, Inc., QTnet, Inc. All rights reserved.